

頸部の手術を受けられる患者さんへ (手術当日入院)

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/	/	/	/	/ ~ /	/	
経過	手術前日	入院日 手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3~4日目	術後5日目 退院日
目標	手術を受ける準備ができる。		 痛みがコントロールできている。 安静を守ることができている。				→ 退院後の生活の注意点を知っている。
処置		手術する側の足に印をつけます。 眼鏡や入れ歯、貴金属等ははずします。 病衣に着替え、弾性ストッキングを履きます。	適宜、血圧、脈拍、体温を測ります。 酸素吸入をします。 心電図モニターを装着します。 創部に管が入ることがあります。	診察(午前) 歩行ができたなら弾性ストッキングを脱ぎます。	→ 創部の管は術後2~3日に抜く予定ですが、管からの量によって抜く日は前後します。 		
点滴		手術室で点滴をします。	→	寝る前に点滴が一時終了になります。	食事の摂取状況に応じて点滴が終了になります。		
お薬		朝7時までに指示されたお薬だけ内服します。 お薬とお薬手帳を持参して看護師に渡してください。		必要に応じて、痛み止めのお薬が処方されます。 持参薬の内服については、医師の指示があります。 			
検査							
食事	0時以降は食事はできません。水分は水のみ可能で、制限はありません。	食事はとれません。指定された時間まで水を飲むことができます。 □ 午前手術→朝7時まで □ 午後手術→朝11時まで	意識がはっきりしていたら、うがいができます。 帰室して4時間後から水分がとれるようになります。 	軟らかめの食事から始めます。 			
安静度	制限はありません。		帰室して4時間はベッド上なるべく仰向きの姿勢で寝て過ごします。それ以降は、トイレまで歩くことができます。初回は看護師が付き添います。	制限はありません。			
排泄	制限はありません。		手術中に尿の管が入り、自然に排出されるようになります。歩行ができたなら抜きます。	制限はありません。 			
清潔	入浴 マニキュアは除去してください。	お化粧品は除去してください。		創部に管が入っている時は下半身のみシャワー浴ができます。出血防止のため、お湯は十分ぬるめにしてください。		創部の管が抜けた後からシャワー浴ができます。 	
説明指導	ご案内した時間に4階TOPS待合へお越しください。 入院や手術に必要な書類を確認します。		 痛みや吐き気がある時は、我慢せずに看護師にお知らせください。 移動の際は創部の管は袋に入れてお持ちください。				診察後に退院になります。 退院時の書類をお渡しし、次回外来予約と退院の手続きについて説明します。



退院後は安静の制限はありませんが、激しい運動は避けてください。